

〔後水尾院當時年中行事正月〕十五日、あしたの物あかの粥を供す、御かゆのさかづき參ル、女中も御前にてたぶ、七日のみそに同じ、夕方御いはひ強供御以前に同じ、

〔禁中恒例年中行事正月〕十五日、七種御粥、是は主水司七種の粥を供御所より調進す、中頃より絶たりしを、近代御再興あり、

〔光臺一覽〕十五日、正月正小豆御粥供之、

〔執政所抄正月〕十五日、粥御節供事、殿下御料十二本、栗栖野様器、同高坏、御粥七前白穀小

粟、黍、栗、盛飯塗、彼色物折敷一枚居一坏、御菜二前、一折敷、海松、青苔、牛房、河骨、一折

敷、瓜、昆布、蓮根、蕪、御菓子二前、一折敷、松栢、棗、柘榴、一折敷、栗、甘子、橘

獼猴桃、四種一折敷、折敷面押、白生絹供之、打敷一帖六尺、北政所御料十二本、同様器

高坏、色目同前、但打敷折敷面龜甲、文唐綾、千壽鶴、松巢之、件事秉燭、行事所司行之、四位陪膳、五位

諸司官人益送之、御殿油出納勤之、所々粥、藏人所、粥二桶白穀小豆、交菓子二外居、菜八

種、酒一瓶、雉一羽、鯉一雙、御臺盤所、粥二桶同前、交菓子二外居膳美、菜八種、侍所

粥二桶同前、菜八種、政所同前、御隨身所、粥二桶白穀小豆、雉一羽、鯉一雙、交菓子

一外居、菜八種、酒一瓶、御讀所、贊殿、小舍人所、御車副、御牛童、主殿所、政所舍人

御厩舍人、釜殿仕丁、已上白粥一桶、小豆粥一桶、杓一柄、菜三種、件粥等、早旦所課家司調進之、使以例文分行之、

〔散木弃哥集春〕むつきの十五日に、あかつきがゆの見ゆるを見て、人々歌よまむなどいふを聞て、

などかよまざらん、兼盛が集にもある心ちこそすれとてよめる、

初春のもち月にもるかゆなればなべてならずはあかきなりけり、

〔言繼卿記〕天文十一年正月十五日丙申、佳例粥祝如例、